

タイトル	宮永岳彦記念美術館 新展示 「宮永岳彦 いのちの彩り」の開催	
When (いつ)	8月12日(水曜日)～平成28年2月7日(日曜日)	
Where (どこで)	宮永岳彦記念美術館常設展示室(鶴巻北3-1-2 電話 78-9100)	
Who (だれが)	秦野市教育委員会	
What (なにを)	<p>秦野にアトリエを持っていた洋画家・宮永岳彦(1919～1987)は、女性美人画や童画など、ジャンルを問わず、その作品にさまざまな植物や動物を描いています。</p> <p>女性達の周りに添えられた草花はより華やかにその空間と姿を彩り、児童向け書籍の表紙画では可愛らしい顔の動物が子供たちの笑顔と共に優しい世界を創り出しました。</p> <p>それらはモチーフとして描いたもののほか、作品の四季をあらわしたものや、絵の表情を豊かにするためのものであったりと、場面ごとに見る者を惹きつけます。</p>	 <p>「Takashima Pearls」ポスター</p>
How (どのように)	<p>2015年は戦後70年の節目の年にあたります。宮永自身も従軍の経験があることから、戦争という暗い時代から世界が解放された後、自由に描けることを喜びながら、作品に命の尊さを表現したのでしょう。</p> <p>「人に伝える」ことを強く意識しながら作品を制作した宮永は、油彩画をはじめ、挿絵やポスターなどでも幅広くその手腕を発揮し、生き物たちを取り入れることで作品をより生き活きと魅せています。</p>	
Why (なぜ)	<p>本展では、そういった人物以外の点に目を向け、何らかの生き物が描かれている作品を集め、ご紹介いたします。</p> <p>宮永岳彦が彩った“いのち”の温もりと大切さを、感じとっていただければ幸いです。</p>	
過去の実績	開館以来、概ね半年毎に展示替えを実施。 今回で28回目の展示替え。	
ホームページ URL	秦野市立宮永岳彦記念美術館	
問い合わせ	秦野市教育委員会生涯学習課 担当：林 84-2792 宮永岳彦記念美術館 78-9100	